


文化財保存活用区域 -文化財が集積しているエリアとその周辺環境-

文化財保存活用区域 1

城の山古墳と江上館跡区域

当地の内水面交通の開発を物語る上で重要な城の山古墳と江上館跡区域の歴史文化遺産を総合的に活用します。胎内川を開発したリーダーを偲ばせるモニュメント、城館などを魅力的に整備し、地域愛の醸成や県内外からの来客誘致につなげます。




城の山古墳

文化財保存活用区域 4

米沢街道の宿場町 中条エリア

宿場町のおもかげを残す国登録有形文化財などの歴史文化遺産を総合的に活用します。往時を偲ばせる中条宿を魅力ある町並みにするために散策用マップの作成、総合文化財案内サインの設置、駅からの街歩きモデルルートの作成、ガイドの育成を行い、パッケージ化を図ります。




大輪寺山門

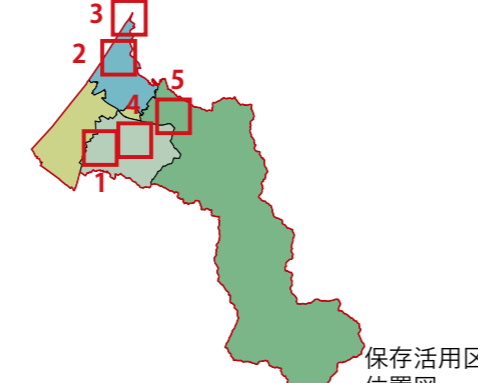
文化財保存活用区域 2

越後の古刹 乙宝寺エリア

越後のまほろば乙宝寺を中心とした門前町の歴史文化遺産を総合的に活用します。境内には三重塔や弁天堂などの建造物が数多く存在し、門前の和菓子屋・旅館を含めて魅力ある町並みに整備することで、地域愛の醸成や県内外からの来客誘致につなげます。



乙宝寺三重塔




保存活用区域位置図

- 中条地区
- 築地地区
- 乙地区
- 黒川地区

文化財保存活用区域 3

北前船で栄えた湊町 桃崎浜エリア

北前船の繁栄や廻船業に携わった人々の軌跡を中心に、桃崎浜エリアの歴史文化遺産を総合的に活用します。点在する港の風景、神社、歴史的建造物、関連民俗資料などを面として捉え発信し、地元住民を巻き込んだ地域活性化を図ります。地域に根差して継承されている伝承・風習・食文化などを確実に伝える仕組みづくりを行います。




荒川神社

文化財保存活用区域 5

胎内市有数の文化・観光ゾーン 樽ヶ橋エリア

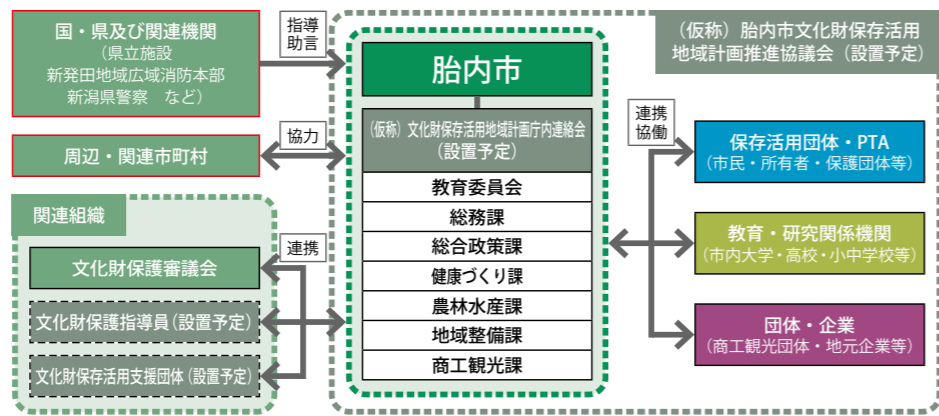
樽ヶ橋エリアの魅力的な歴史文化遺産を有効的に利用するため、エリア内の遊園地、動物園、温泉健康施設などに文化財紹介コーナーを設置し、一体的な誘導整備、看板整備を行います。胎内市美術館、黒川郷土文化伝習館、胎内市観光交流センターを情報発信拠点とし、総合的な整備と活用を行います。



樽ヶ橋

5 保存・活用を推進するための体制

歴史文化遺産は地域の共有財産であることから、計画の推進は、胎内市が主体となって関係機関を含めた市内の連携を図りながら、行政と歴史文化遺産の所有者・管理者・保護団体はもちろんのこと、地域に関わる市民、教育・研究関係機関、団体・企業などがそれぞれの役割を担い、協働して保存・活用に取り組みます。



胎内市文化財保存活用地域計画【概要版】

1 文化財保存活用地域計画とは

このたび胎内市では、令和7年(2025)3月に文化財保護法に基づく「胎内市文化財保存活用地域計画」を作成し、同年7月に文化庁長官の認定を受けました。

本計画は、市の歴史や文化の文脈に沿って現在残されている多様な文化財を見直し、総合的に一体的な保存と活用をすることにより、地域の特性を生かした地域振興を図るとともに、文化財の継承につなげることを目指して作成しました。



2 胎内市の歴史文化の特徴

本計画では、国・県・市から指定などを受け、保護されているもの(指定等文化財)に加えて、地域の人々に守られ後世に伝えるべき大切な歴史文化遺産を「文化財」として広く捉えます。

計画の作成にあたっては、胎内市の歴史や市内に現存する文化財(指定等文化財:114件、未指定文化財:891件)を総合的に把握し、6つの歴史文化の特性にまとめました。

【指定等文化財件数一覧】

令和7(2025)年3月現在

類型	国 指定	県 指定	市 指定	国 登録	国 選択	登録小計	登録小計	合計
有形文化財								
建造物	1	3	1	23*		5	23*	28
美術工芸品								
絵画	0	1	1	0		2	0	
彫刻	0	1	6	0		7	0	
工芸品	0	3	3	0		6	0	
書跡・典籍	0	0	2	0		2	0	
古文書	1	0	1	0		2	0	
考古資料	0	2	25	0		27	0	
歴史資料	0	0	8	0		8	0	
小計	2	10	47	23*		59	23*	82
無形文化財	0	0	0	0	1	1	0	1
民俗文化財								
有形の民俗文化財	1	0	4	0		5	0	
無形の民俗文化財	0	0	3	0	0	3	0	
小計	1	0	7	0		8	0	8
記念物								
遺跡	2	0	2	0		4	0	
名勝地	0	0	0	0		0	0	
動物・植物・地質鉱物	2	4	13	0		19	0	
小計	4	4	15	0		23	0	23
文化的景観	0					0		0
伝統的建造物群	0					0		0
合計	7	14	69	23*	1	91	23*	114

※斜線は法令に指定等の規定がない区分を示します。
*国登録有形文化財(建造物)は同一敷地内にあるものを「一つ」とした場合は11所です。

1. 豊かな自然と人とのかかわり

胎内川めぐみを楽しみ、先人は自然環境の変化に順応しながら歴史文化を築いてきました。高度な漆文化を有する縄文時代の遺跡が多く、そのことを物語っています。



2. 胎内川内水面交流と開発のあゆみ

胎内川内水面の湯川を利用した文化と経済の交流、治水と掘削事業、海運業、そして羽越水害に至る古代から現代までの開発のあゆみを見ることができます。奥山荘時代の開発領主の築いた山城や居館跡などの史跡が現在も数多く残ります。



3. 旧街道宿場町・門前町・湊町の発展

近世になると米沢街道沿いの宿場町や浜通りの町並みが整備され、市も開かれにぎわいました。それらの市や町並みは商業発展の礎となり、北前船の寄港地としても発展した桃崎浜には、廻船問屋や船主たちの屋敷や神社に奉納された船絵馬が多く残ります。



4. 人々の祈りと祭り

神楽の奉納や山車の巡行など、日々の生活と関わる魅力的な民俗芸能や祭行事が執り行われています。また、神楽や山車以外にも誓女の祭も行われ、誓女文化継承の里でもあります。



5. 歴史を見守る緑の景観

神社や寺院に植えられた巨木と名木、街道沿いの並木などが見られ、幕末の戊辰戦争の被災から生き残ったもの、羽越水害を乗り越えたものなど、様々な時代の流れを見守ってきた木々が多く残ります。



6. 黒川油田の発展と近代化

日本書紀に「燃ゆる水」の献上地として登場し、明治時代から昭和時代初期にかけては油田地帯として開発するなど、地域の近代化に寄与しました。毎年開催される黒川燃水祭では地域に発展をもたらした油田の歴史について児童をはじめ多くの方に紹介しています。



3 文化財の保存・活用に向けた課題・方針・措置


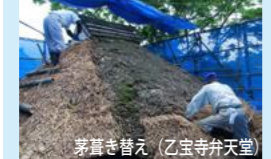

本計画では、胎内市の歴史文化をとりまく現況を踏まえ、将来を見据えた歴史文化遺産の保存・活用に取り組むにあたり、将来像を次のとおり設定しました。また、この将来像の実現に向けた様々な課題を検討し、解決するための方針を立て、必要な措置（具体的な事業・取組など）を定めました。

将来像 地域総がかりで『歴史文化遺産』を保存・活用するまち


■文化財の保存・活用に関する基本方針

基本方針 1 (調査・研究)	基本方針 2 (保存・管理)	基本方針 3 (防災・防犯)	基本方針 4 (活用)	基本方針 5 (体制)
歴史文化遺産の調査・研究を通して地域の歴史的価値を高めます。	歴史文化遺産を地域の未来へつなぎます。	地域の協力を得て、歴史文化遺産の防災・防犯につとめます。	歴史文化遺産を地域で活かし、価値を広く共有します。	地域で歴史文化遺産の保存・活用を支える体制を整えます。




■文化財の保存・活用に関する課題

<ul style="list-style-type: none"> ①継続的な調査・研究 ②価値評価 ③調査成果や記録の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ④保存・管理 ⑤修理・整備・記録作成 ⑥保存に対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦災害の歴史認識 ⑧平常時の対策 ⑨緊急時の対策 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩情報発信の手段 ⑪公開・体験の機会 ⑫教育・学習の機会 ⑬観光・産業部局とボランティア団体等との連携や体制づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ⑭庁内の体制 ⑮保存と活用を支える人材育成 ⑯保存・活用の資金 ⑰広域連携
---	---	---	--	--

■文化財の保存・活用に関する方針

<ul style="list-style-type: none"> ①歴史文化遺産の調査・研究を推進します。 ②歴史文化遺産の指定・登録を推進します。 ③調査成果や記録を整理し後世に受け継ぎます。 	<ul style="list-style-type: none"> ④歴史文化遺産を良好な状態で維持管理します。 ⑤歴史文化遺産の価値を保存するための修理・整備・記録作成を計画し、実施します。 ⑥歴史文化遺産の保存に向けた地域の取組を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦災害の歴史を整理し、周知・共有します。 ⑧歴史文化遺産の防災・防犯対策を講じます。 ⑨緊急時に関係者が取るべき行動・対応を定めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩歴史文化遺産の情報を様々な手段で発信します。 ⑪歴史文化遺産の公開を通して、魅力を広く共有します。 ⑫歴史文化遺産の理解を深め、誇りと愛着を醸成します。 ⑬各種団体と歴史文化遺産の活用方法を検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑭庁内の体制を整備します。 ⑮調査・研究、保存・活用に必要な人材を育成します。 ⑯資金調達の仕組みを拡充します。 ⑰関連する市町村との連携を図ります。
--	---	---	---	--

■文化財の保存・活用に関する措置の例

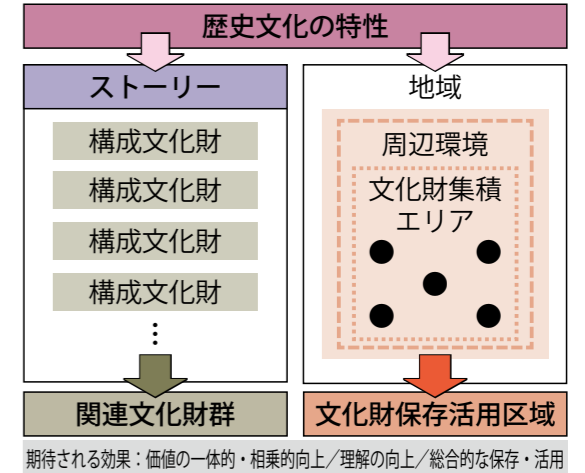
基本方針 1 (調査・研究) ②歴史文化遺産の指定・登録を推進します 歴史文化遺産の指定・登録の推進 まちづくりにおけるシンボルとなりうる文化財の増加を目指します。  国登録有形文化財 三浦家住宅主屋 ■取組主体：市民、行政、教育研究 ■計画期間：中期～後期	基本方針 2 (保存・管理) ⑥歴史文化遺産の保存に向けた地域の取組を支援します 無形の民俗文化財の継承支援 伝統芸能や祭り等の行事や地域の口伝を継承する団体等への新たな支援策（助成、人的支援、応援体制等）を検討します。  市指定文化財 坂井の神楽舞 ■取組主体：市民、行政、教育研究 ■計画期間：中期～後期	基本方針 4 (活用) ⑩歴史文化遺産の公開を通して、魅力を広く共有します 歴史文化遺産特別公開・企画展の開催 定期的に文化財の特別公開・講演会や企画展、観光ツアーを開催します。  柴橋地域ふれあいセンター 考古・民俗資料室 ■取組主体：市民、行政 ■計画期間：前期～後期
--	---	---

4 文化財の総合的・一体的な保存と活用（関連文化財群と文化財活用区域）

本計画では、複数の文化財の中から共通のテーマを持つ歴史文化の特性から導き出されるストーリーに沿ってまとめた「**関連文化財群**」と、文化財が集積しているエリアとその周辺環境を面的に捉えた「**文化財保存活用区域**」を設定しました。

共通の要素を持つ一体的な文化財のまとまりを設定し、各々の課題・方針・措置を検討・計画することによって、個々の文化財の魅力を一体的・相乗的に高めるとともに、より魅力的でわかりやすい形で価値を伝え、総合的な保存・活用につなげていきます。

関連文化財群	関連性や共通のテーマを持つ文化財のまとまり
構成文化財	関連文化財群を構成する各々の文化財
ストーリー	個々の文化財を結び付ける関連性を説明するもの
文化財保存活用区域	文化財が集積しているエリアとその周辺環境




関連文化財群 –歴史文化の特性から導き出されるストーリーをまとめたもの–

歴史文化の特性：1. 豊かな自然と人とのかかわり

湧水と豊かな自然のもとに育まれた太古の文化 ～優美な漆器が語る華やかな縄文文化～

概要：胎内川水系の湧水は山岳地帯から日本海砂丘までみられ、縄文時代の優れた漆工をうかがわせる遺跡や、砂丘付近のミズバショウ群生地など湧水にまつわる特徴的な歴史文化遺産があり、現在も名水地として人々の生活の中で生き続けています。

【代表的な構成文化財】・分谷地 A 遺跡出土品 ・胎内縄文の清水 ・地本のミズバショウ群生地
・二軒茶屋遺跡出土品 ・どっこん水




県指定文化財 地本のミズバショウ群生地

歴史文化の特性：3. 旧街道宿場町・門前町・湊町の発展

近世の繁栄を伝える旧街道宿場町と黒川藩柳沢家の推移

概要：江戸時代には中条宿、黒川宿が宿場町として栄え、往時を偲ばせる寺院や土蔵などの建造物、料亭、道しるべ、庚申塔などの石碑もみられます。それぞれ胎内市の主要な市街地として発展をとげ、著名人の往来や足跡を各所で見ることができます。

【代表的な構成文化財】・旧伊藤家住宅土蔵 ・黒川藩御殿絵図 ・荒惣店舗兼主屋、見世蔵、内蔵
・料亭南都屋




国登録有形文化財 荒惣店舗

越後の古刹乙宝寺と北前船で栄えた湊町

概要：奈良時代に創建された乙宝寺には胎内市を代表する歴史文化遺産が多数所在します。また乙宝寺周辺の湊町では海運業が盛んとなり、廻船問屋や豪壮な船主の屋敷が今も多く残ります。また、市内には北前船の航海の安全を願って描いた船絵馬が 185 枚現存し当時の繁栄をものごとります。

【代表的な構成文化財】・乙宝寺三重塔 ・藤木家住宅主屋 ・三浦家住宅主屋
・荒川神社奉納模型和船及び船絵馬 ・荒井浜塩竈神社の祭り




国指定重要文化財 船絵馬

歴史文化の特性：4. 人々の祈りと祭り

瞽女文化継承の里・農山村の暮らしに息づく個性豊かな民俗芸能
～瞽女さんが農村にもたらした娯楽と文化・地域に伝承される獅子舞や神楽～

概要：瞽女さんが訪れ唄を披露した懐かしき農村の風景、棚田の風景、街道の跡が今も残ります。瞽女宿に集まった村人たちに瞽女唄が披露されました。また、瞽女文化を伝える上で欠かすことのない旧跡や、頭彰碑なども農村の中に残っています。また、個性豊かな獅子舞や神楽なども舞われています。

【代表的な構成文化財】・瞽女頭彰碑 ・坂井の神楽舞 ・歙江の神楽 ・築地の獅子舞
・柴橋の祭りと念仏、柴橋の獅子踊




市指定文化財 築地の獅子舞

歴史文化の特性：6. 黒川油田の発展と近代化

燃ゆる水の献上地 日本最古の黒川油田

概要：日本書紀に登場する原油の湧出を間近で見られる珍しい自然地形。明治時代の手掘り井戸と採油に関する民具・記録が残されています。13 世紀の奥山荘波月条近傍絵図や古文書にも臭水（原油）に関する記載があり、明治時代から昭和初期にかけて油田地帯として開発され、石油は古代から現代まで胎内市の歴史と密接に関わってきました。

【代表的な構成文化財】・臭水油坪 ・黒川燃水祭 ・塩小路光乎卿の碑 ・羽黒油田発祥地の碑



国史跡 臭水油坪